

- コース距離：9.4km
- 歩行時間：約2時間30分

- 1 早稲田停留場
↓0.5km
- 2 面影橋
- 3 金乗院
↓0.8km
- 4 鬼子母神堂
↓0.8km
- 5 雑司ヶ谷霊園
↓3.7km
- 6 高岩寺(とげぬき地蔵)
↓0.8km
- 7 巢鴨庚申塚
↓1.8km
- 8 飛鳥山公園
↓0.6km
- 9 王子駅前停留場



8 飛鳥山公園

徳川古宗が享保の改革の一環として整備・造成を行った公園として知られ、都内の桜の名所の一つ。園内には3つの博物館があり、なかでも同地に本邸を構えていた渋沢栄一の旧邸は、国の重要文化財に指定されている。



7 巢鴨庚申塚

江戸時代には中山道の立場として栄え、旅人の休憩所として茶店もあり、人足や馬の世話もしていた。現在は、道の神、旅人の神とされる猿田彦大神を庚申堂に合祀している。



5 雑司ヶ谷霊園

明治政府の自葬禁止、火葬禁止等の布告にともない、東京府が明治7年(1874年)に造営した共葬墓地。現在は東京都公園協会が管理している。夏目漱石、竹久夢二、ジョン万次郎など著名人の墓が多くある。



Walking Course

9 王子駅前停留場

東北新幹線の高架橋の真下において、JR王子駅と並行している。JR線との乗り換え客と飛鳥山公園の行楽客で、都電の停留場のなかで最も乗降客が多いこの停留場が、今回の旅の終点。



快汗ウォーキングコース

早稲田から鬼子母神堂、雑司ヶ谷霊園をめぐる、とげぬき地蔵を参拝して飛鳥山公園までの都電荒川線沿線を散策する半日コース

都電荒川線は荒川区の三ノ輪橋から新宿区の早稲田まで、30ある停留場の全長12.2kmを約50分で走る、都内に唯一残った路面電車です。沿線には観光スポットも多く、今回ご紹介するコースは、なかでも人気の高い鬼子母神、とげぬき地蔵、飛鳥山公園などが散策できる、早稲田から王子駅前までの沿線の旅です。



1 早稲田停留場

都電荒川線の終点の停留場。新目白通りの道路中央に位置し、1線に集約された線路の南北両側にホームがある。近くには早稲田大学を象徴する大隈記念講堂などがある。都電荒川線沿線の散策は、ここがスタート。



2 面影橋

都電荒川線の停留場近くにある、神田川に架かる単純なコンクリート橋だが、江戸城主・太田道灌の逸話にある山吹の里の地とされ、神田川流域でも知名度が高い橋のひとつ。



3 金乗院

文禄3年(1594年)以前の創建と推定されている。徳川家光が江戸府内から5箇所の不動尊を選び、天下泰平を祈願したことに由来する、江戸5色不動のひとつ目白不動尊を祀っていることで知られている。



4 鬼子母神堂

都電荒川線の停留場から続く参道のケヤキ並木は、古いもので樹齢400年。ここに祀られている鬼子母神像は鬼形ではなく、羽衣をつけ幼児を抱いた美しい菩薩形なので、ツノのつかない鬼の字が用いられている。



6 高岩寺(とげぬき地蔵)

「おばあちゃんの前宿」と呼ばれる巢鴨地蔵通り商店街にある曹洞宗の寺院。慶長元年(1596年)の創建で、一般にはとげぬき地蔵の通称で知られ、病気の治癒改善のご利益を求めて、高齢者を中心に参拝者が絶えない。

